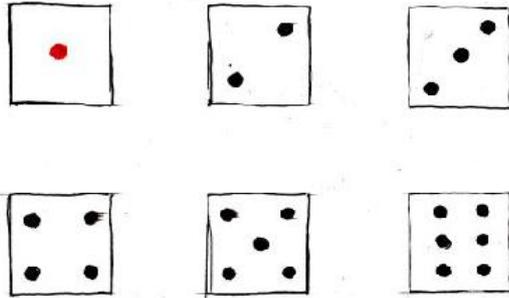


P 1 5 4 1 確率の求め方

ひろげよう 「ひろげようを読んでください。」

1の目が出て欲しい

1つのさいころを投げるとき



(ア) 起こりうる全ての出方は

- 1の目が出る場合
- 2の目が出る場合
- 3の目が出る場合
- 4の目が出る場合
- 5の目が出る場合
- 6の目が出る場合

の6通りである

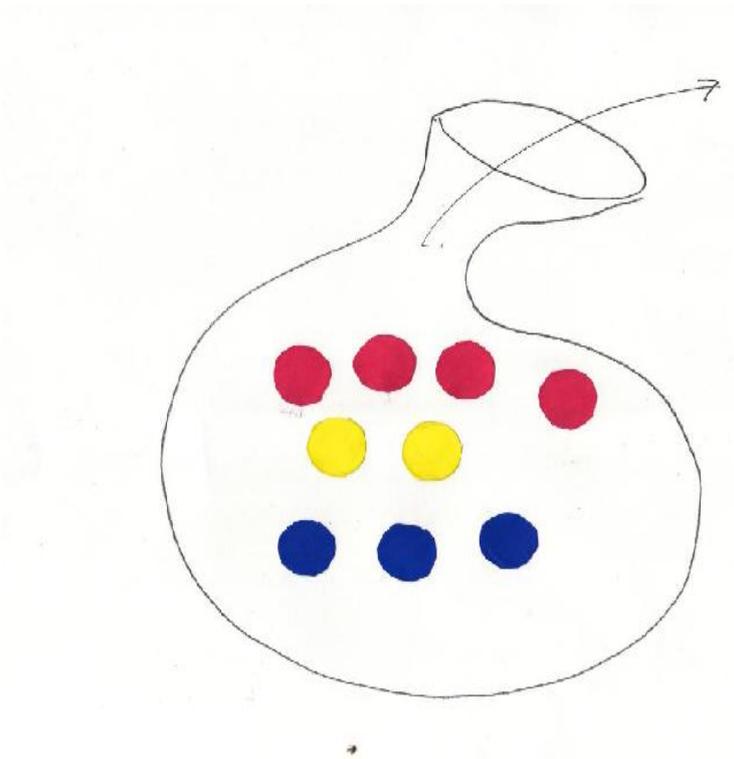
(イ) どの目が出ることも同じ程度である。

(ウ) 1の目が出るのは1通りである。

$$\frac{\text{(ウ) の場合の数}}{\text{(ア) の場合の数}} = \frac{1}{6}$$

どの場合が起こることも同じ程度であると考えられるとき
同様に確からしいという。

例1 玉を取り出すとき



(ア) 玉の取り出し方は全部で9通り

(イ) どの玉の出方も同様に確からしい。

(ウ) 赤玉の出る場合は 4通り

赤玉の出る確率は $\frac{4}{9}$

問1 (1) 青玉が出る確率 $\frac{3}{9} = \frac{1}{3}$

(2) 青玉または黄玉の出る確率 $\frac{5}{9}$

必ず起こる事柄の確率 1

絶対起こらない事柄の確率 0

確率 p $0 \leq p \leq 1$

問2 (1) 6以下の目が出る確率 1

(2) 7以上の目が出る確率 0

練習問題

1. (ア) 偶数の目が出る確率 2. 4. 6 $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$

(イ) 3以上の目が出る確率 3. 4. 5. 6 $\frac{4}{6} = \frac{2}{3}$

(ウ) 1の目が出る確率 1 $\frac{1}{6}$

(エ) 6未満の目が出る確率 1. 2. 3. 4. 5 $\frac{5}{6}$

(オ) 3の倍数が出る確率 3. 6 $\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$